

# 第4次基本計画第2次改定が確定するまでの流れ

第4次基本計画の第2次改定に向けた令和元年度の取り組みは次のとおりです。今回の「1次案」に続いて、令和元年12月には「2次案」をお知らせし、みなさんの意見を反映しながら進めていきます。

## 第4次基本計画第2次改定(1次案)に対する市民参加

### 1 アンケート

本号に同封の、アンケートにご協力ください。

回答期限:令和元年11月1日(金)  
(消印有効)

回答方法:アンケートの切取線部分を切りとり、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。



### 2 エリア別・テーマ別ワークショップ (11面をご覧ください)

①エリア別ワークショップ

10月19日(土)、23日(水)、26日(土) 所 各コミュニティセンター

②テーマ別ワークショップ

10月14日(祝) 所 三鷹ネットワーク大学

### 3 まちづくりディスカッション (10面をご覧ください)

11月2日(土)、3日(祝) 所 教育センター

※無作為抽出により、事前に参加者が決定しています。

### 4 まちづくりコメント (10面をご覧ください)

9月20日(金)～10月27日(日) 所 市内全域

## 「第4次基本計画第2次改定(1次案)」へのご意見をお寄せください

11月5日(火)までに、住所・氏名・電話番号(団体の場合は、所在地・団体名・代表者の氏名・電話番号)を差し支えない範囲で記入し、直接または郵送で「〒181-8555三鷹市役所企画経営課」・FAX 48-1419・[✉kikaku@city.mitaka.tokyo.jp](mailto:kikaku@city.mitaka.tokyo.jp)へ提出ください。

※1次案の全文は市ホームページからご覧いただけます。また、市立図書館、相談・情報課(市役所2階)、市政窓口、市民協働センター、コミュニティセンターで閲覧できます。

## 第4次基本計画第2次改定のステップ (令和元年度の取り組み)

### 改定の流れ

#### 第1ステップ(6月)

##### 基本方針

「第4次三鷹市基本計画第2次改定に向けた基本方針」として、第2次改定に向けた基本的方向を提示したものです。

#### 第2ステップ(9月)

##### 1次案

施策の体系、主要事業などを提示したものです。

#### 第3ステップ(12月)

##### 2次案

計画案の全文を提示したものです。

#### 3月

### 計画確定

※個別計画についても、基本計画とおおむね同様のステップで確定します。

### 市民参加・学識参加



まちづくりディスカッション



介護市民会議

#### ◇9～12月

- 広報特集号の発行およびアンケートの実施……………1
- エリア別・テーマ別ワークショップ……………2
- みたかまちづくりディスカッション……………3
- まちづくりコメント……………4
- 市民会議・審議会

#### ◇12～3月

- パブリックコメントの実施
- 「広報みたか」などによる意見募集
- 市民会議・審議会

## 平成30年度の取り組み

平成30年度に実施した第4次基本計画の第2次改定に向けた市民参加・職員参加の取り組みについてご紹介します。

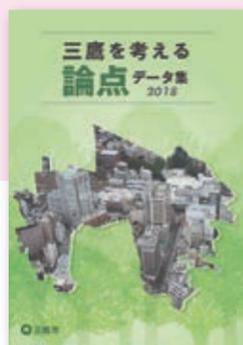
### 「第4次三鷹市基本計画第2次改定等に向けた市民満足度・意向調査」の実施 (平成30年6月)

第4次基本計画の第2次改定に向けた基礎調査の一環として、行政サービスや施策をはじめとした、市民のみなさんの市政に関する想いや考え、評価などを伺うために行ったものであり、基本計画の策定および改定の前年度に実施しています。

今回は、無作為で選ばせていただいた満15歳以上の市民3,500人に調査票を郵送し、1,667人の方に回答をいただきました。

### 「三鷹を考える論点データ集」「三鷹を考える基礎用語事典」(web版)の発行 (平成30年12月)

「三鷹を考える論点データ集」は、近隣市との比較データなどを掲載し、市の課題や取り組み状況を視覚的にまとめた冊子です。「三鷹を考える基礎用語事典」は、市の課題や取り組みの内容を事典スタイルで編集し、項目別に示したものです。いずれも市ホームページや「みたかe-bookポータル」でご覧いただけるほか、相談・情報課(市役所2階)、三鷹図書館(本館)でもご覧いただけます。



### 三鷹まちづくり総合研究所「市政に関する将来課題の調査研究分科会」での検討 (平成30年7月～31年3月)

「三鷹まちづくり総合研究所」(所長＝三鷹市長)を三鷹ネットワーク大学と共同で設置し、「市政に関する将来課題の調査研究」として、「土地利用のあり方」「行政サービスのあり方」「コミュニティのあり方」「学びの循環と人材活躍のあり方」について検討を行い、報告書をまとめました。